

# すぎなみ教育報連載「我が校はコミュニティ・スクール！」 (全記事抜粋)

## 我が校はコミュニティ・スクール! ①

今号から、コミュニティ・スクールへの理解が更に深まるよう、コミュニティ・スクールになった各校の取組について様々な角度から紹介していきます。

今回は、子どもたちにコミュニティ・スクールの仕組みを分かりやすく伝えるために、校長先生が朝礼で自校の子どもたちにお話した内容を紹介します。

※コミュニティ・スクールについては、前号の教育報 No.230 号(特集)・教育委員会 HP で紹介しています。

### 学校の未来図を共に考える 方南小学校 校長 小原 潤

コミュニティ・スクールというのは、「方南小のみんなの未来について、学校運営協議会の委員の方々と共に考える学校」です。

方南小の未来を考えるには、方南小の「今」を知ってもらうことが大切です。そこで、委員の皆さんに、みんなのことや学校の様子を知ってもらう必要があると校長先生は、考えました。



例えば、普段のみんなの学校生活を委員の皆さんに見てもらっています。

また、先生たちと委員の皆さんで、話をする機会をたくさん作っています。

みんなの学力のこと・体力のこと・考えていることも委員の皆さんと話し合い、みんなの「よい所」だけでなく「よくない所」も知ってもらうことが必要だと考えています。

その上で、1年後、3年後、5年後のみんなの姿について一緒に考えてもらっています。「みんなにどうなってほしいか」「そのために何をしたらいいか」について真剣に話し合いをしています。



委員の皆さんは、方南小と方南小に通うみんなのことを他人事ではなく、自分たちのこととして考えて、様々なご意見をを出してください。

そうした話し合いの中で、方南小の先生たちと委員の皆さんが気持ちを一つにして、方南小をより良い学校としていくことを目指しています。

方南小学校では、委員の皆さんの力は欠かせません。

委員の皆さんに会ったときには、いつものように挨拶をしましょう。

問合せ：学校支援課 学校支援係 ☎03-5307-0756

## 我が校はコミュニティ・スクール! ②

### 地域と共に歩む学校 向陽中学校 校長 菅野 武彦

※コミュニティ・スクールについては、教育報 No.230 号(特集)・教育委員会 HP で紹介しています。

向陽中学校は、区内で最初にコミュニティ・スクールになった(平成17年4月)学校です。我が校の学校運営協議会委員の皆さんは、子どもたちの豊かな学びの実現のために「学ぶ場所は校舎に限らない。街中がキャンパスだ!」との想いで、会議での意見交換に留まらない積極的な取組を進めています。その取組の一つに向陽中生のための地域学習教室「Cafe勉」があります。「Cafe勉」は、わからないところがあればその場にいる元教員や大学生などが教えてく



ゆうゆう永福館が会場となり、毎週木曜日と定期考査前の3~4日間で実施。また、正月にはお習字の達人が書き初めを教えてくれる「Cafe勉スペシャル」も実施。

れる学習室です。この取組は委員の皆さんと教員との合同研修会の中で、教員から「子どもの学習をもっと見たいが個別に教える余裕がない」との話を受けて「自分のまちの子どもは自分たちで面倒を見たい」と委員の一人が発起人となりスタートしました。

実施に当たっては、NPO法人や明治大学ボランティアサークル、地域の有志の方々と構成する実行委員会の事業として行っています。子どもたちは、放課後に教科書やプリントなどを持ち込み、学校とは違った環境や大人たちとの関わりの中で自主的に学んでいます。その多様な学びの場の提供と子どもの自主性の尊重は、我が校が掲げる「自立した学習者の育成」にもつながっています。これからも刺激的で頼もしい委員の皆さんと一緒に地域と学校との関わり合いを深めながら、子どもの成長を育んでいきます。

問合せ：学校支援課 学校支援係 ☎03-5307-0756

# すぎなみ教育報連載「我が校はコミュニティ・スクール！」 (全記事抜粋)

## 我が校はコミュニティ・スクール! ③

### コミュニティ・スクール! 15歳になります

初代学校運営協議会4校の集い 呼びかけ人  
谷原 博子

※コミュニティ・スクールについては、教育報 No.230号(特集)・教育委員会HPで紹介しています。

私が委員を務めている桃井第四小学校の学校運営協議会は、平成17年度に区内で初めて学校運営協議会を設置した学校(コミュニティ・スクール【以下「CS校」という。】)として15年目を迎えました。

同年には、三谷小学校、杉森中学校、向陽中学校もCS校となり、4校それぞれに手探りで委員の役割やCS校ができることについて考え、実践してきました。

5月、これまでの委員個々のつながりを頼りに、15年目を迎えた4校の委員と元委員10名が「罷卸し」をキーワードに集い、杉並区のCS校が横にネットワークを組んで、情報提供や学び合いの場づくりができないかなど意見交換を行いました。4校でスタートし区内の小中55校がCS校となった今、「課題を分かち合うこと」や「可能性を探る

こと」「各CS校の特徴をより活かしていくこと」を真剣に熟議することがますます求められてきていると感じるからです。

CS校で育った子どもたちは、いよいよ社会で活躍する時を迎えています。4校それぞれの15年分の実践を振り返ることは、子どもたちの育ちの検証の機会でもあります。

今後、4校でゆるやかに始めたこの集いが、4校に留まることなく、熟議と協働を手探りで始めた新しいCS校ともつながりながら、私たちににとっての学校運営協議会制度の発展、進化に役立てていけたらと思いついておりました。

**問合せ:** 学校支援課 学校支援係 ☎03-5307-0756

## 我が校はコミュニティ・スクール! ④

### 高二小・松庵小・西宮中 コミュニティ・スクール(CS)研修会

西宮中学校 校長  
由井 良昌

※コミュニティ・スクールについては、教育報 No.230号(特集)・教育委員会HPで紹介しています。

西宮中学校は、学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクール【以下、「CS校」という。】として、本年10月に5年目を迎えます。

私は、CS校において、校長が作成する学校運営の基本的な考え方である「学校運営方針」に学校運営協議会の多様な委員の意見が盛り込まれることが大切だと感じています。

その際、限られた時間の中で、委員全員の意見を引き出すには、「熟議(じゅくぎ)」という手法を用いることも有効と感じています。熟議とは、「多くの当事者による熟慮と討議を重ねながら政策形成につなげていく議論」のことです。

この7月29日、「学校における働き方改革の推進」をテーマに、近隣3校(高井戸第二小学校、松庵小学校、西宮中学校)のCS合同研修会を開催し、学校関係者総勢62名が参加しました。3校の教員・CS委員・学校支援本部スタッフ・保護者などが、①働き方改革の内容及び今後学校で取り組まなければならない課題を理解すること②教員は

何をやる職なのかについての意見を共有すること③各学校においてどのような業務内容の見直しや分担ができるのかについて考えるための視点をみんなで考えることを目的に熟議を行いました。グループ討議では、まず、熟議のポイントとなるファシリテーターからのテーマに関わる情報の共有や参加者の自己紹介を行い、その後、参加者同士の活発な意見交換が行われました。

今回の研修は、様々な立場の皆さんにご参加いただくことができました。参加者の皆さんが、ご自身の活動母体における話し合いの場面で、コミュニケーションの円滑化や活発な意見交換など、当たり前のようなことが意外とできていなかったことを、熟議を体験することで、気付いていただくこともできたのではないのでしょうか。

今後も引き続き、参加者が互いに「気付き」を得られるような取組を進めたいと考えています。

**問合せ:** 学校支援課 学校支援係 ☎03-5307-0756

# すぎなみ教育報連載「我が校はコミュニティ・スクール！」 (全記事抜粋)

## 我が校はコミュニティ・スクール! ⑤

### 共に考える学びの場 サマーワークショップ

天沼小学校 学校運営協議会委員  
井上 尚子

※コミュニティ・スクールについては、教育報 No.230号(特集)・教育委員会 HP で紹介しています。

天沼小学校の学校運営協議会(平成22年4月設置)は、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させるために、様々な声を集めることを大切にしています。会議自体は限られた委員による話し合いになってしまうからこそ、学校をともにつくる委員以外の方からの声が重要です。その声を学校運営に反映することで、学校をより良くしていこうとする当事者意識が高まり、地域とともにある学校づくりを進めることができると考えています。

そこで、平成22年から毎年夏に保護者や地域の皆さん、教職員が天沼小学校の教育について話し合い、共に考えて学ぶ「サマーワークショップ」を実施しています。参加者は対面での話し合いを通して学校や先生をよく知ること、先生たちの大変さを理解したり子どもの学びに関わりたい気持ちが芽生えたりして、自分にできることはないかと考えています。今年のテーマは「学校行事の刷新」。事前に調査した先生たちの声を紹介した上で

“残したいもの”と“改善できるもの”という2つのテーマでグループワークを行いました。グループに一人ずつ委員を配置し、意見をまとめた資料を学校へ提出しました。その提案を踏まえて、今年度以降の行事内容の見直しが行われました。

様々な声を集め、学校を理解しながらつながることによって、未来を担う子供たちにとっても、地域の未来にとっても、よりよい歩みになると考えています。



毎年、前半は話し合うテーマに関する講話や授業体験等があり、後半はグループに分かれて意見交換を行っています。今年は63名が参加。

## 我が校はコミュニティ・スクール! ⑥

最終回

### すぎなみの学校運営協議会の特徴

学校支援課

※コミュニティ・スクールについては、教育報 No.230号(特集)・教育委員会 HP で紹介しています。

1月17日、富士見丘中学校に福岡県春日市の小・中学校3校の校長と学校運営協議会委員が、協議会運営の参考とするために訪れました。

同校の渋谷校長は、委員一人ひとりの体験や経験に基づく意見は、これまでの当校経営には無い新たな発想であり、特色のある学校づくりに繋がっていることなどを話しました。また、学校支援課の担当は、杉並区が3つの区分(公募、校長推薦、学識経験者)で委員を幅広く委嘱していることなどをお伝えしました。

さらに、同校の委員は、教員の職場環境の改善に向けた教員との話し合いについて紹介しました。

春日市の皆さんからは、委員一人ひとりの学校運営に対する当事者意識の高さに感銘を受けたと感想をいただきました。



教育委員会では、コミュニティ・スクールとなっている各校の取組を次年度からホームページで紹介していくなど、引き続きコミュニティ・スクールの理解が深まるよう情報発信していきます。

問合せ：学校支援課 学校支援係 ☎03-5307-0756